

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5634 笑いの歴史1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	150
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	D204教室				
代表教員	角尾 宣信				
担当教員	角尾 宣信				
テーマと到達目標	笑いというのは奇妙な感情です。「笑う門には福来る」と言うといいもののようですが、いじめっ子はいじめ相手を笑うのですし、そこには差別や暴力が含まれています。本授業の目標は、私たちの生きる近現代社会において、笑いがどのように良くも悪くも機能してきたのかを、理論と歴史両面から学び、今ではメディアにあふれるようになったお笑いについて考えていくことです。				
概要	前期の授業では、主に漫才やコントを取り上げ、そこでの笑いの分析方法と歴史的変遷を考察します。前半では、フロイトやベルクソン、また近年の認知科学も取り入れた情動理論による笑いの理論を学び、具体的な漫才やコントを分析していきます。後半では、漫才の起源にある万歳に遡り、そこから前近代と近代の笑いの性質の変化、そして近現代日本の笑いの変容に関して、考察していきます。扱う芸人さんは、近年流行している若手のExitや四千頭身から、すでに大物となっているダウンタウンやウッチャンナンチャンから、昭和の漫才師エンタツアチャコなどです。連続している後期の授業では、映画やアニメにおける風刺やコメディを扱います。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション——お笑い芸人と政治				対面授業
第2回	フロイトの「機知」論——EXITとせやろがいおじさん				対面授業
第3回	フロイトの「ユーモア」論(前編) —— 講談『畦倉重四郎』				対面授業
第4回	フロイトの「ユーモア」論(後編) —— ダークヒーローの笑い				対面授業
第5回	ベルクソンの『笑い』の理論(前編) —— ザ・ドリフターズ、ダチョウ倶楽部 etc				対面授業
第6回	ベルクソンの『笑い』の理論(後編) —— ダウンタウン「笑ってはいけない」シリーズ				対面授業
第7回	懲罰矯正の笑いの転換(前編) —— ウッチャンナンチャン『笑う犬』				対面授業
第8回	懲罰矯正の笑いの転換(後編) —— 「はっぱ隊」の笑いと身体の潜在的可能性				対面授業
第9回	ダウンタウンとウッチャンナンチャンの歴史				対面授業
第10回	情動理論からみる笑い——ぺこばの漫才				対面授業
第11回	笑いとその時代——お笑い第7世代の光と闇				対面授業
第12回	万歳／漫才の歴史(前編) —— その起源を遡行して				対面授業
第13回	万歳／漫才の歴史(後編) —— 万歳から漫才へ、笑い近代				対面授業
第14回	漫才の更なる変容と現代日本——四千頭身・空気階段・ZAZY etc.				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	定期的な小レポート(200字以上。提出方法等は初回授業で指示)と、学期末レポート(課題内容や提出方法等は後半の授業回で指示)により、成績評価します。出席はポータルでの登録により管理しますが、欠席が6回以上の者は単位認定しません。また、インターネット上等から複製した文章を出典明記せず記載した回答は、一回でも「剽窃行為」として不可、複数の者が同文の回答を提出した場合も全員を不可とします。				
履修にあたっての留意事項	・本前期授業の後編となる「笑いの歴史2」(後期)も合わせて履修されることをお勧めします。 ・小レポート、期末レポートにおいては、チャットGPTの使用を禁止します。発覚した場合は呼び出し、または不可とします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	T学科				

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし		
教科書	各授業で資料を配布します。また、映像や音声資料に関しては、授業中に抜粋部分を観賞し、議論します。	教科書(ISBN)	
参考文献	各授業で指示します。	参考文献(ISBN)	